

平成 24 年度合格新技術士講習会報告

平成 25 年 4 月 26 日

日本技術士会 原子力・放射線部会

(文責 大橋)

平成 24 年度一次、二次試験合格者を対象に新技術士講習会を日本原子力学会教育委員会技術者教育小委員会と共催で例年通り実施した。概要は下記の通り。

1.新技術士講習会

(1)主催:

(社)日本技術士会 原子力・放射線部会

(一社) 日本原子力学会 教育委員会技術者教育小委員会 共催

(2)開催日時:平成 25 年 4 月 19 日(金) 13:00～16:00

(3)開催場所:日本技術士会 荳手第二ビル 5 階 A 会議室

(4)参加者:来賓 4 名、二次試験合格者 8 名、一次試験合格者 2 名、部会員 14 名

(参加者名は添付資料による)

(5)講習会の内容

(a)来賓のご挨拶

- ・ 日本技術士会 高木専務理事:技術士は倫理や技術に対し前向きにアグレッシブであれ。
- ・ 成合筑波大名誉教授:技術士の資格は技術のパスポート。福島事故では技術の境界が問題になった、これを埋めていくのが役割。技術社会の中で技術がどこまで何が出来るかを考え、今までの経験を踏まえ更なる貢献に期待。
- ・ 工藤九州大学教授:原子力学会の継続研鑽の議論に技術士会から参加してもらっている。自分自身で活躍の場を広げていく努力せよ。部会での活動、後輩の指導に期待。
- ・ 柴田 JAEA 客員研究員:放射線分野での技術士の活用を考えていきたい。その為にも受け皿をしっかりと作れ。

(b)新技術士のための講習

岡村幹事より「日本技術士会の活動と技術士登録について」、白川幹事より「CPD 登録、A P E C エンジニア登録、E M F 国際エンジニア登録、技術士の特典について」、後藤副部長から「原子力・放射線部会の活動について」、畑幹事より「平成 2 5 年度技術士二次試験について (一次合格者向け)」の講演を行い、以下質疑が行われた。

Q 1 : 諸外国の技術士制度の中に原子力部門もあるのか・・・米国、韓国にあるのは承知しているがそれ以外の国にこの部門があるか不明。今後国際化といわれている中で諸外国の制度を自ら調べてみる必要があると認識する。

Q 2 : A P E C エンジニアへの認可登録において、技術士に合格する以前の C P D 活動時間を対象にして良いのか・・・調べて回答するが多分駄目であろう (調べた結果不可とのこと。質問者には直接回答した)。

(c)参加者の集合写真撮影



(d)新技術士の自己紹介と先輩技術士からの祝辞

・ビールを飲みながら、二次試験合格者から今後の抱負等、一次試験合格者からは二次試験に向けた意欲等、先輩技術士からは技術士としての心構え等の紹介があった。

2.懇親会

神谷町の串特急にて柴田先生の参加も得て新技術士合格のお祝いを行った。名刺等の交換を行い、新旧技術士の交流の場となった。



以上